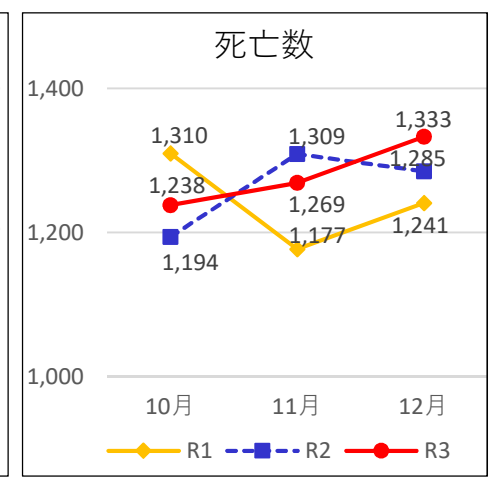
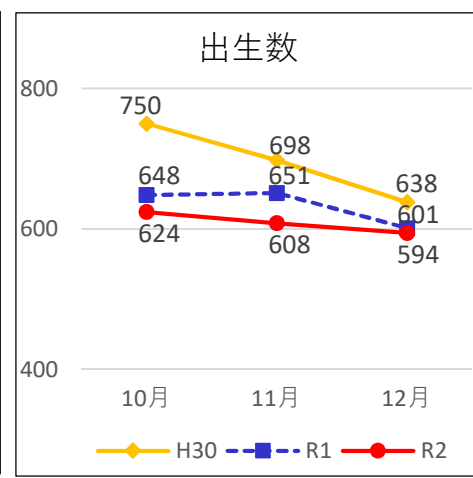
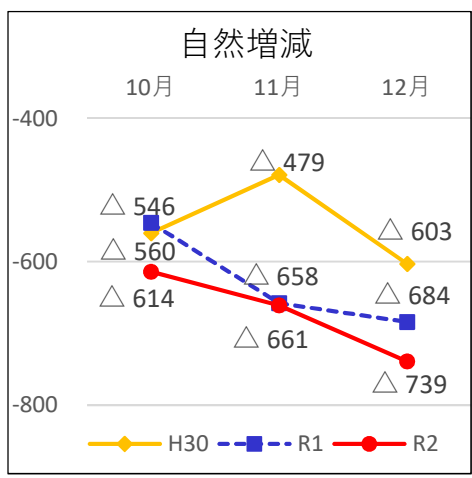


令和2年10月～12月の人口動態について

○令和2年10月1日の実績：1,124,983人 → 目標1,126,220人を△1,237人下回った。
 ○令和3年 1月1日の実績：1,123,242人
 → 3ヶ月で、△1,741人の減少（自然増減 △2,014（出生1,826、死亡△3,840）、社会増減 +273）

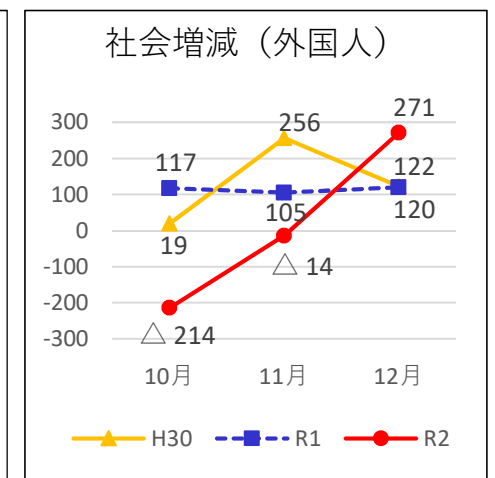
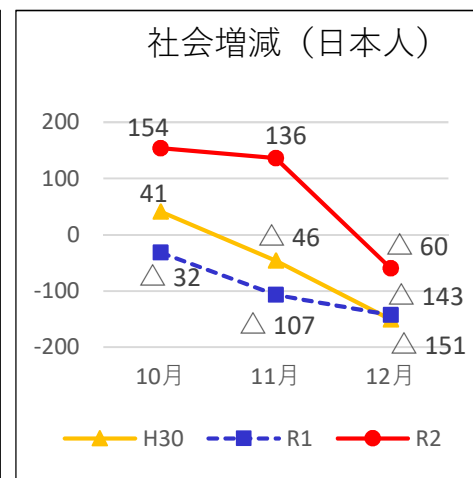
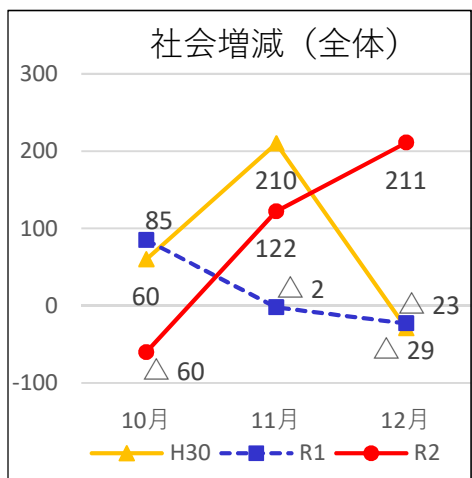
自然動態

- ・出生数は、過去3年で最も低い水準で推移。
- ・この間、死亡数が増加しているため、自然増減の減少幅が拡大。



社会動態

- ・日本人については、10月と11月は100人を超える転入超過。12月は転出超過に転じたものの、過去3年では転出超過数が最少。
- ・外国人については、10月以降の入国制限緩和により入国者が回復し、12月は転入超過に転じた（3ヶ月間で県内大学の新生約250人が入国）。

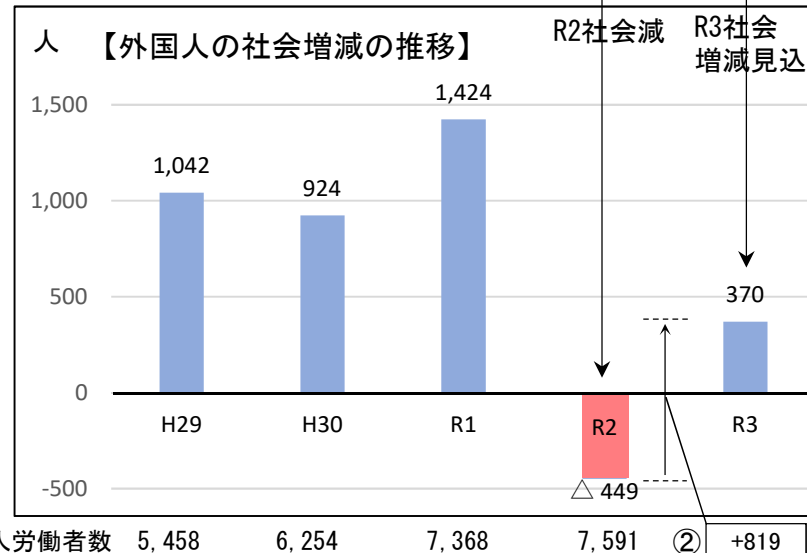
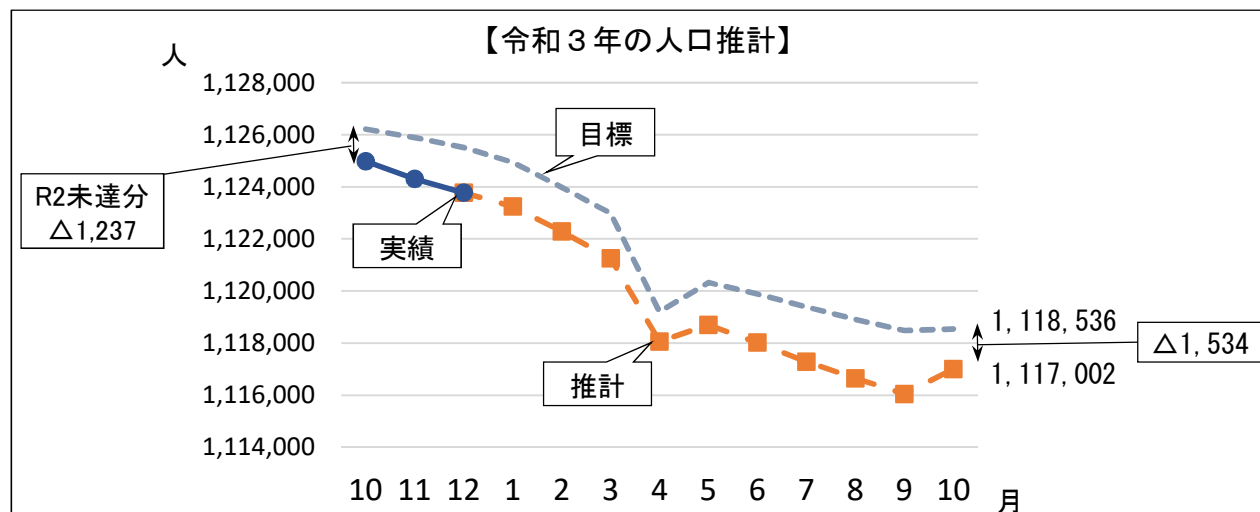
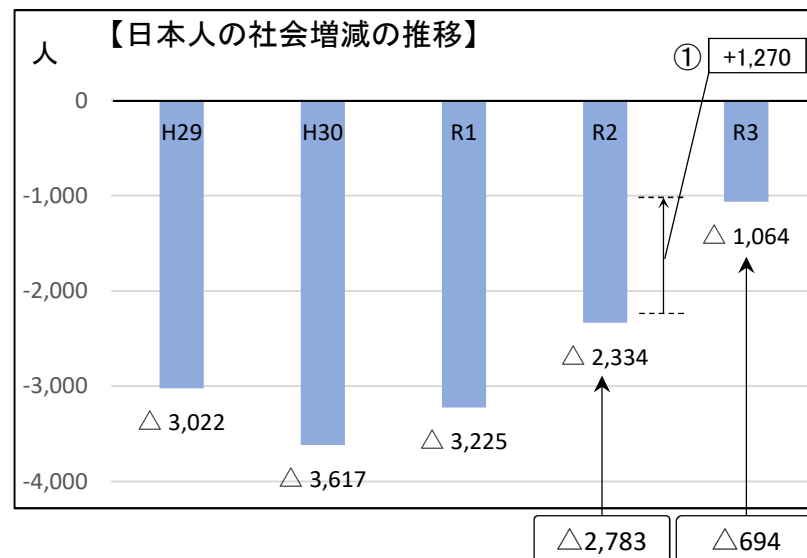


令和3年10月1日の人口推計について

- R3年の目標：1,118,536人（自然増減△6,484（出生8,125、死亡△14,609）、社会増減△1,200）
- R3年の推計：1,117,002人（自然増減△7,287（出生7,322、死亡△14,609）、社会増減 △694）
- 目標を△1,534人下回る（自然増減 △803（出生△803、死亡 ±0）、社会増減 +506、R2未達分△1,237）

【推計方法】

自然動態	社会動態
<ul style="list-style-type: none"> ・出生数については、妊娠届の減少に応じて減少する見込み。 （参考）4～10月比較 R1→R2 妊娠届減少率 △5.3% ・死亡数については、過去3年間の平均値で推計。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日本人については、新型コロナによる集中から分散への価値観の変化等に伴い都市から地方への転入・移住の増加など、転出超過数が減少する見込み。 ②外国人については、新型コロナの感染状況が落ち着き、ワクチン接種が計画どおり進めば、9月入学までに留学生や労働者の入国が回復する見込み。



外国人労働者数 5,458 6,254 7,368 7,591